


# 目標-

目標 -	<b>調査・計画・設計・施工・管理を通じて利用可能な電子データの利活用</b> ・必要な書類については完全電子納品化を行うとともに、これらの流通が図れるようなシステムの構築を図る。 ・建設生産システムの全フェーズ共通して利活用が図れるような電子データシステムの構築を図る。					利用フェーズ	全フェーズ		
	利用者	本省	本局	事務所	出張所	調査	設計	施工	利用業務

**現状・課題**

- ・3次元データも、2次元形式の図面に変換して電子納品している。
- ・仮組において費用、時間を費やしている。
- ・既に一部工事では3次元データによる施工管理が行われているものの、公共工事では活用事例がない。
- ・CADデータから数量算出は可能であるが、活用されていない。
- ・工事・業務終了時に電子納品しているが、次の工事や業務に有効に使われていない。
- ・納品仕様が徹底されていないために様々な仕様のCADデータが納品されている。



3次元で設計しても2次元で納品

**目標**

- f) CADデータ仕様の普及状況を踏まえた納品時の仕様の徹底 及び、設計、積算、施工への活用による業務の効率化
- g) 成果品の納品のうちライフサイクルに必要なデータ等について、完全電子納品化するとともにこれらの流通が図れるような仕組みの構築
- h) 設計・施工の基礎となる地質、測量データの一元化
- i) 維持管理に必要なデータベースの高度化

**モデル工事**



3次元データの取得

新  
新  
新  
新

実施項目	H20	H21	H22	H23 ~	行動計画の分類			
					システム開発・改良	機器調達	既存サービスの活用	
流通する図面データのルール化		図面データ交換・運用M-ℓの検討 CADデータの納品仕様の徹底 運用M-ℓの検証	運用		( )			f
完全電子納品化及び電子成果品の提供・図面の公開		電子納品化及び成果の提供に関する課題の検討 一部試行	順次、運用を拡大					g
設計・施工に基礎データの一元化	地質情報DB整備	測量データの統合検討	一元化DBの整備	運用				h
CADデータの利活用 2次元CADデータによる数量算出	CADによる数量算出要領(素案)作成	CADによる数量算出要領(案)作成、試 行実施 適用工種の拡大	試行拡大 2次元CADによる数量算出活用のための 技術基準改定	運用	( )			f
3次元データへの 交換標準の策定	道路 3次元道路構造のモデル化	3次元道路構造の納品試行						f
	河川 3次元河川堤防構造のモデル化	3次元河川堤防構造の納品試行						f
3次元データを活用したモデル設計・施工の実施	3次元データ活用実態の把握 モデル設計・工事の実施計画策定	モデル設計・工事の実施	3次元データに関する電子納品要領策 定	運用				f
維持管理DBの整備・更新・運用 1		既存DBの課題抽出	維持管理に必要なDBの改良	運用	( )			i
3次元データを活用した維持管理情報 の可視化	課題と利活用場面の検討	3次元データと維持管理DBとの連携による 可視化検討	試行・運用		( )			i

# 維持管理項目(目標)

維持管理DBの整備・更新・運用の内訳

(参考)

実施項目	H20	H21	H22	H23～	行動計画の分類		
					システム開発・改良	機器調達	既存サービスの活用
(道路)維持管理DB	運用	既存DBの課題抽出					
(河川)維持管理DB	河川管理DB(堤防データ)整備 データ仕様検討	河川管理DB試行運用	運用				
(都市)維持管理DB	公園管理DBの課題抽出	公園管理DBの改良・データ仕様 検討	公園管理DB試行運用	運用			
(港湾)維持管理DB	システム改良設計・改良	システム改良 港湾施設関連データ連携	運用				
(機械設備)維持管理DB	システム改良等検討	システム改良、構築、試行運用	運用				
(航空)空港舗装巡回等点検システム	システム改良、データ連携設計	システム改良、データ連携設計 試行運用	システム改良、試行運用	運用			